

小規模事業者持続化補助金（創業型）

計画書の作成例①

- 第2回 | 2025年11月28日締切分の書式 -

1. 企業概要

事務局が公表している作成例

【概要】

当店は、2024年1月に創業し、地域内外のお客様へのサービスを開始した。他の珈琲店では味わえないこだわりのコーヒー豆を丁寧に焙煎し販売しており、地域の住民や若者にご利用いただいている。

(単位:千円)

事業	メニュー	売上高	売上 総利益	売上 シェア	客単価
(1) 店舗事業	・コーヒー豆の販売 ・コーヒー豆加工品の販売 ・贈答用セット商品の販売	6,000	3,400	70%	約2,000円
(2) オンライン事業	・コーヒー豆の販売 ・コーヒー豆加工品の販売 ・贈答用セット商品の販売	2,500	1,100	30%	約3,000円

事務局が公表している作成例を改善

1. 概要

当店は、珈琲豆店、2024年1月に創業。元々は、会社員だった代表が、小型の焙煎機を買って、好みの珈琲豆を焙煎し、自分で飲んだり、人にふるまつたりしていた。それが「美味しい」と評判を呼び、「豆を売ってほしい」と頼まれたところがスタート。その後、仕入れのルートを確保、店舗を借り、2024年1月にお店のオープンに至った。

事業区分	商品区分	売上高	売上総利益	客単価
店舗販売 売上シェア 70%	コーヒー豆の販売			
	コーヒー豆加工品の販売			
	贈答用セットの販売			
オンライン販売 売上シェア 30%	コーヒー豆の販売			
	コーヒー豆加工品の販売			
	贈答用セットの販売			

改善ポイント

事業計画では、「どこをテコ入れしたいか」を明確に示したいところです。そういう観点で見ると、売上高・客単価などは、事業区分ごとではなく、商品区分ごとに確認して、「コーヒー豆のオンライン販売を強化したい」といった書き方が望ましいです。そのため、上記のような表に変えています。